

令和2年度

事業報告

社会福祉法人 都留市社会福祉協議会

令和2年度事業報告

I 事業概要

今日、社会福祉は大きな転機にあり、世界にも例を見ない少子高齢化の進行は、社会の姿を大きく変え多くの課題を顕在化させております。

個々の価値観や生活習慣の変化、さらには、社会的孤立者や、子供を含む生活困窮者の増加等を要因とする地域社会全体の変容などにより、地域の繋がりが希薄化し、日々の暮らしの中で様々な生活課題が生じております。

また、全国で頻発する地震や、台風などに伴う大規模な自然災害により、多くの犠牲者と地域社会の混乱が生じていることから、私たちは、これらの災害から得た教訓と経験を活かして、将来起こりうる災害への備えを含めた地域福祉活動の推進に活かしていくことが求められています。

国では、「地域共生社会の実現」を掲げ、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が自分の出来る範囲で役割を持ち、互いに支え合いながら、自分らしく活躍できる地域を共に創っていく社会を目指しています。

このような中、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、都留市社会福祉協議会におきましても、過去に例のないほど様々な活動に支障が生じた1年となりました。しかしながら、地域の様々な社会資源とのネットワークを活用し、多くの人々との協働を通じ地域に密着した組織として、福祉活動推進事業、ふれあいのまちづくり事業、共同募金配分金事業、福祉サービス利用援助事業、障害者社会参加促進事業、在宅福祉推進事業、生活支援体制整備事業、障害者等相談支援事業等に取り組んでまいりました。

また、介護を必要とする高齢者や障がい者の方々を対象とした介護保険事業、自立支援居宅介護事業及び基準該当生活介護事業等に取り組むとともに、保健・医療・介護・福祉関係者と連携し、各種サービスの啓発・利用上の助言及び調整など、地域における福祉の総合的な相談窓口として、多くの皆様の協力を得る中、以下の事業を展開しました。

II 実施事業

社会福祉事業

法人運営事業

理事会・評議員会	1
つるの福祉発行	2
非常災害基金事業	2

福祉活動推進事業

社会福祉大会事業	3
歳末たすけあい事業	3
地区社協活動の支援と助成	3
民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業	4
地域福祉活動計画推進事業	4
社会福祉資金貸付事業	4
福祉バザー事業	5

ふれあいのまちづくり事業

都留市ボランティアセンターの運営	6
都留市ボランティア連絡会の支援	6
都留市ボランティアまつりの開催	6
地区ボランティアコーディネーター設置事業	7
災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業	7
福祉教育推進事業	8
ボランティア活動推進校事業	8
ボランティア団体助成事業	8
各種ボランティア講座の開催	8
総合相談事業	9
ふれあい・いきいきサロン	9
ふれあい・子育てサロン	10
いこいの広場（障がい者の地域交流事業）	10

福祉医療健康講座	10
老人の幸せの里づくり事業	11
おふくろの味・知恵袋交換会	11
都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業	11
福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での情報交換会	12
障がい者スポーツの振興	12
共同募金配分金事業	12
福祉サービス利用援助事業	13
障害者社会参加促進事業	
奉仕員等（点字奉仕員・手話奉仕員）養成事業	14
点字・声の広報など発行事業	14
当事者組織の支援	14
在宅福祉推進事業	
給食サービス事業	15
ふとん丸洗い事業	15
生活福祉資金貸付事業	15
地域ふれあい健康推進事業	16
福祉バス運営事業	16
善意銀行事業	16
社会福祉基金事業	17
地域見守りネットワーク事業	17
生活支援体制整備事業	17
介護支援ボランティア事業	18
障害者等相談支援事業	18

介護サービス事業

居宅介護支援事業	19
訪問入浴介護事業	20
訪問介護事業	21
介護予防・日常生活支援総合事業（訪問介護）	22
通所介護事業	23
介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護）	24
自立支援居宅介護事業	25
障がい者移動支援事業	27
基準該当生活介護事業	28

社会福祉事業

法人運営事業

事業名	事業の具体的内容と目的
理事会・評議員会	<p>都留市社会福祉協議会は地域福祉の中心的な推進役として社会福祉法に位置づけられています。</p> <p>法人運営においては、事業全体の管理や組織の管理を行うための理事会・評議員会を中心に法人の健全経営に努めることを目的とする。</p>
事業実績	
<p>組織体制 理事 15 名／監事 2 名 評議員 36 名</p> <p>第 1 回理事会／令和 2 年 6 月 12 日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の件 ○役員候補者の選任の件 ○評議員候補者の選定の件 ○評議員会の決議の省略による開催の件 ○会長及び常務理事の職務執行状況報告の件 ○第 2 回理事会の開催について <p>第 2 回理事会（決議の省略） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都留市社会福祉協議会副会長の選定の件 <p>第 3 回理事会／令和 3 年 3 月 19 日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○専決処分の承認を求める件（都留市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）） ○専決処分の承認を求める件（都留市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）） ○専決処分の承認を求める件（第 39 回留市社会福祉大会における社会福祉功労者の表彰の件） ○令和 3 年度都留市社会福祉協議会事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 ○評議員選任・解任委員会の委員選任の件 ○評議員会の決議の省略による開催の件 ○会長及び常務理事の職務執行状況報告の件 ○第 2 次都留市地域福祉活動計画進行状況の件 ○都留市社会福祉協議会イメージキャラクターの件 <hr/> <p>第 1 回評議員選任・解任委員／令和 2 年 6 月 19 日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○評議員の選任の件 <hr/> <p>令和 2 年度都留市社会福祉協議会定時評議員会（決議の省略）※新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算承認の件 ○理事の選任の件 ○専決処分の承認を求める件（役員の報酬等を定める規程中改正の件） <p>第 2 回評議員会（決議の省略）※新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため</p> <ul style="list-style-type: none"> ○専決処分の承認を求める件（都留市社会福祉協議会補正予算（第 1 号）） ○専決処分の承認を求める件（都留市社会福祉協議会補正予算（第 2 号）） ○令和 3 年度都留市社会福祉協議会事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 	

事業名	事業の具体的内容と目的
「つるの福祉」発行	社会福祉協議会が実施する事業や相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、様々な情報を広く市民に周知することを目的とする。

事業実績

社協だより「つるの福祉」を年4回発行

月	内 容
5月	事業計画、当初予算、生活支援体制整備事業（三吉）、介護事業所からのお知らせ、ボランティア活動助成金、生活福祉資金特例貸付、広報モニター募集、老人クラブ会員・各教室会員募集、給食サービス事業配食ボランティア募集、第38回都留市社会福祉大会、共同募金結果報告、都留市住民参加型有償在宅福祉サービス（養成講座報告）、手話奉仕員養成講習会、おふくろの味・知恵交換会、いこいのひろば、地区ボランティアコーディネーターの紹介、ボランティア活動保険、令和2年度手話奉仕員養成講習会開催自粛について、東部地域高齢者作品展、山梨県シルバー作品展、ふれあいゲートボール大会
8月	新型コロナウイルス感染症対策特集、生活福祉資金特例貸付、令和元年度都留市社会福祉協議会一般会費、令和元年度決算報告、都留市社会福祉協議会新役員及び評議員の紹介、社協事業中心のお知らせ、ふとん乾燥事業、配食ボランティア大募集、山梨県シルバー作品展、車椅子の寄贈（ライオンズ）
11月	赤い羽根共同募金の意義、生活福祉資金特例貸付、介護支援ボランティア養成講座、介護事業所からのお知らせ、福祉サービス事業所からのお知らせ、福祉バザー中止のお知らせ、フードドライブ、ふとん丸洗い事業、東部地域高齢者作品展、都留市ボランティア連絡会の歩みとこれから、ペットボトルキャップ支援、都留市社会福祉協議会イメージキャラクター募集
2月	コロナ禍における福祉教育、生活福祉資金特例貸付、フードドライブ、ふとん丸洗い、東部地域高齢者作品展、介護支援ボランティア養成講座、全国社会福祉大会および山梨県社会福祉大会、第39回都留市社会福祉大会、福祉巡回車の寄贈、未来に×橋プロジェクト、突撃取材！あなたの活動社協が応援！「笑顔の秘訣は何ですか」、野菜作りで生きがいづくり共同菜園ボランティア「畑楽もん！」、赤い羽根共同募金大口募金報告
5月・8月 11月・2月	善意銀行、総合相談所カレンダー、絵手紙特集

事業名	事業の具体的内容と目的
非常災害基金事業	社協の事業の円滑な運営を図るため、非常災害基金を設置する。基金は災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するための財源に充てる。また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てる。

事業展開

災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するため、また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てるため、利息を積み立てた。

福祉活動推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉大会 事業	<p>本市社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表するとともに、より一層の地域福祉活動の充実を図ることを目的とする。</p> <p>地域福祉に関する講演等を実施する。</p>
事業実績	
<p>開催日 令和3年2月19日（金） 午後1時30分</p> <p>会場 都の杜うぐいすホール 小ホール</p> <p>内容 表彰 顕彰 27名・4団体 都留市長表彰 7名 都留市社協会長表彰 19名・2団体 感謝状 4名・2団体 都留市老連会長表彰 5名 感謝状 3名</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策を講じ、例年、いきいきプラザ都留で開催していた大会を都の杜うぐいすホールにおいて開催した。</p>	
事業名	事業の具体的内容と目的
歳末たすけあい 事業	<p>80歳以上のひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者に対して、一人3千円を贈呈し、歳末の買物の一助にしてもらうことを目的とする。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 援護物資を支給 80歳以上の在宅ひとり暮らし老人世帯（408世帯）に現金3,000円、寝たきり老人（40名）にタオル・現金3,000円 （事業費：共同募金500,000円・市補助金657,000円・社協負担金200,637円） 	
事業名	事業の具体的内容と目的
地区社協活動の 支援と助成	<p>地区社協（地区社会福祉協議会）は、住民一人ひとりが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくため地区住民や、町内会・自治会、民生委員・児童委員、その他地区の各種団体から選出された代表者によって構成される住民組織です。地区社協は、生活上のいろいろな問題や課題について話し合い、問題解決のための活動や福祉の風土作りを進めていく活動を支援しそれぞれ地域に根ざした福祉活動の展開を図ることを目的とする。</p> <p>活動費の助成と、市社協から地区担当職員を配置する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社協へ活動交付金を支給し、福祉活動を推進するため助成 7地区合計 1,823,280円 ・ 7地区社協それぞれに市社協の職員を配置し、連携を密に地域福祉活動を推進した。 ・ つるの福祉にて、7地区社協の活動を紹介した。 ・ 都留市自治会連合会へ地区社協への協力を要請した。 	

事業名	事業の具体的内容と目的												
民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業	都留市民生委員・児童委員協議会事業の育成を目的とし、助成金を交付する。												
事業実績													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 都留市民生委員・児童委員協議会へ助成（令和2年度については、都留市民生委員・児童委員協議会より新型コロナウイルス感染拡大に伴う民生委員活動等の減小及び研修事業の中止により246,000円の返還があった。） ・ 市社協の事業説明及び各種事業実施にあたり調査や協力を要請した。 													
事業名	事業の具体的内容と目的												
地域福祉活動計画推進事業	<p>地域福祉活動計画は、都留市に暮らす誰もが、より暮らしやすくなるような「地域社会」を住民自身の手で作りに上げていくための計画とし、様々な立場の住民の声を聞き、浮かび上がってきた地域社会の課題を解決するために、具体的な行動を起していくことを目的とする。</p> <p>また、市社協を取り巻く環境は大きく変化しており、福祉ニーズも複雑化・多様化している。このような中、改めて市社協の使命を明確にした上で、市社協の経営理念・経営ビジョンを示し、その実現を計画的に図るため、都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画を推進し、地域福祉活動計画を着実に推進する。</p>												
事業実績													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2次都留市地域福祉活動計画推進会議を開催（年1回） ・ 第2次都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画推進会議を開催（年1回） ・ 第2次都留市地域福祉活動計画進行状況について、令和2年度第3回理事会において報告した。 													
事業名	事業の具体的内容と目的												
社会福祉資金貸付事業	<p>一般貸付 生活困窮世帯に対し、一時的に資金を貸付け、生活意欲の助長と生活の安定を図ることを目的に50,000円以内を貸付する。</p> <p>高額医療費貸付(国民健康保険世帯) 高額医療費支給推定額80%以内で、最高限度額を300,000円とし貸付する。</p>												
事業実績													
<p>資金の貸付業務・相談業務を実施した。</p> <p>滞納世帯に対しては、新たに滞納整理事務マニュアルを作成し、督促状の発送、電話連絡、また、訪問して現状を把握する中償還計画書を作成してもらう等の取り組みを行った。</p>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">相談件数</th> <th style="width: 20%;">貸付件数</th> <th style="width: 30%;">貸付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般貸付</td> <td style="text-align: center;">1件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> <td style="text-align: center;">0円</td> </tr> <tr> <td>高額医療費貸付</td> <td style="text-align: center;">0件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> <td style="text-align: center;">0円</td> </tr> </tbody> </table>			相談件数	貸付件数	貸付額	一般貸付	1件	0件	0円	高額医療費貸付	0件	0件	0円
	相談件数	貸付件数	貸付額										
一般貸付	1件	0件	0円										
高額医療費貸付	0件	0件	0円										

事業名	事業の具体的内容と目的															
福祉バザー事業	市民の誰もが参加できる社会福祉活動として、市民の方より遊休品の提供を受け実施する。															
事業実績																
<p>例年、自治会や民生委員・児童委員、地区社協役員等の協力により、各家庭から遊休品を提供していただき、福祉バザーを実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。</p>																
<table> <tr> <td data-bbox="156 465 336 501">バザー売上金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="204 501 376 537">(窓口売上金)</td> <td></td> <td data-bbox="612 501 695 537">400 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="156 537 217 573">経費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="204 573 376 609">(バザー経費)</td> <td></td> <td data-bbox="628 573 695 609">84 円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="204 609 552 645">(社会福祉基金へ資金移動)</td> <td></td> <td data-bbox="612 609 695 645">316 円</td> </tr> </table>		バザー売上金			(窓口売上金)		400 円	経費			(バザー経費)		84 円	(社会福祉基金へ資金移動)		316 円
バザー売上金																
(窓口売上金)		400 円														
経費																
(バザー経費)		84 円														
(社会福祉基金へ資金移動)		316 円														

ふれあいのまちづくり事業

事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティアセンターの運営	<p>住民のボランティア活動への関心を高めるとともに活動参加へのきっかけづくりを進め、市民参加型の福祉社会を実現することを目的とし、都留市ボランティアセンターを開設し運営する。</p> <p>住民の主体的な地域活動への参加を促進するための相談窓口の開設、ボランティア養成、広報・啓発、情報提供、ネットワークづくり、コーディネート業務などボランティア活動促進全般の業務を行う。また、ボランティア・市民活動支援機能を強化するため基盤を整備する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア相談 月～金曜日実施 相談件数 872 回 ・ ボランティア情報ボード 市内7ヵ所に設置 年5回発信 ・ ボランティアグループ・団体実態調査実施 年1回 ・ ボランティア活動保険加入手続き 年98件 ・ 貸館（いきいきプラザ都留内ボランティア活動室・点字音声図書館） 年199件 ・ 備品貸出し 年83回 ・ ボランティア関係資料の発行 「ボランティアハンドブック」 ・ YOUTUBE、インスタグラムを使った情報発信 ・ 未来に×橋プロジェクトを実施 	
事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティア連絡会の支援	<p>ボランティア間の連絡、情報交換を行い、円滑なボランティア活動の推進と、地域福祉活動の進展に寄与することを目的とする都留市ボランティア連絡会の運営を支援する。</p> <p>都留市ボランティア連絡会の事務局機能を果たし、連絡会の運営を支援する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア間の連絡、情報交換など円滑なボランティア活動の推進と地域福祉活動の進展を目的に支援した。 （総会：新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため書面での審議とした。理事会：年2回延べ20名参加、連絡会：新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。） ・ 活動費助成 50,000円 	
事業名	事業の具体的内容と目的
都留市ボランティアまつりの開催	<p>市民一人ひとりが、ごく自然にボランティア・市民活動に参加できるきっかけづくり、意識啓発、交流できるイベントを開催し、都留市のボランティア・市民活動の輪をさらに大きくひろげ活動の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>都留市ボランティアまつりを開催する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。 	

事業名	事業の具体的内容と目的
地区ボランティアコーディネーター設置事業	<p>身近な地域の中で住民のボランティア活動への関心を高め活動参加へのきっかけづくりを進めるとともに、ボランティア活動の現状やニーズ等情報を収集し、円滑なボランティア活動の推進とコーディネート機能の向上を図ることを目的とする。市内7地区にボランティアコーディネーターを設置する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内7地区に地区ボランティアコーディネーターを11名配置 ・ 地区ボランティアコーディネーター連絡会 年2回開催 市内各地区からの情報提供やボランティア活動推進について協議 ・ ボランティア情報ボードを活用し情報発信 年2回 ・ 各種ボランティア事業実施にあたり運営協力 	
事業名	事業の具体的内容と目的
災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業	<p>大規模な自然災害が発生した場合に備え、平常時から住民の意識啓発活動、災害ボランティアセンター・福祉救援活動の基盤整備、災害時要援護者の支援体制づくりを目的とする。</p> <p>都留市災害救援ボランティア連絡会、災害ボランティアコーディネーター研修、青少年災害ボランティアスクール、災害時要援護者支援班活動、防災ネットアマチュア無線クラブ、災害ボランティアセンター設置運営訓練等を行う。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模な災害発生時に、都留市地域防災計画に基づき都留市災害対策本部との協議を経て災害ボランティアセンターを設置し、被災者本位の救援・援助活動を効果的かつ迅速に行うため、平常時から関係者と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する課題検討などを行い、災害時における活動の環境整備を図るため、都留市災害ボランティアセンター運営検討委員会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議を中止した。 ・ 例年9月に災害ボランティア活動促進を図るため、山梨県立都留興譲館高等学校・谷村地域協働のまちづくりと協働して高校生災害ボランティアスクールを開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。 ・ 災害ボランティアセンターが行う被災地・避難所・その他の機関との情報伝達のボランティア活動として、防災ネットアマチュア無線クラブ活動を支援した。(年2回、延べ参加者18名) ・ 例年、総合防災訓練主会場で行っていた災害ボランティアセンター設置・運営訓練については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。 ・ 災害ボランティアセンターの周知のため、都留市内の自主防災会会議に出向き周知活動を行った。(1自主防災会) ・ 都留市セーフコミュニティ減災・防災対策委員会に所属し、会議の参加および情報収集等に参加した。(14回※ZOOM会議含む) 	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉教育推進事業	<p>児童・生徒の福祉・ボランティアに対する関心を高め、様々な体験活動を通じて社会連帯・ボランティア精神・福祉のこころを醸成するとともに、子どもたちを通じて家庭や地域へ啓発を図ることを目的とする。福祉のこころ醸成事業、学校からの相談援助業務を行う。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校からの相談援助 年 47 回 ・ 都留市児童生徒連絡協議会活動支援 通年 ・ 令和 2 年度全国福祉教室推進員フォローアップセミナーに 2 回参加 	
事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア活動推進校事業	<p>市内小学校及び中学校の児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助と社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的とする。</p> <p>市内の小・中・高等学校 12 校を都留市ボランティア活動推進校として指定し、助成金を交付し活動を支援するとともに、相談援助業務を行う。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 都留市ボランティア活動推進校連絡会 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。 	
事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア団体助成事業	<p>地域の中で自主的に活動しているボランティア団体・グループが、活動を継続し、さらに発展していけるよう、支援することを目的とする。</p> <p>1 団体当たり 5 万円を上限に、活動費として助成金を交付する。</p>
事業実績	
<p>1 団体当たり 5 万円を上限に、活動費として助成金を交付した。</p> <p>都留市読み聞かせボランティアこぶたの会、ボランティアサークルひびきの会、都留市ボランティア連絡会、手話&ステップニュークレイン、「歌声のつどい」ボランティア鈴木志ぐれ、市民ボランティア YOUR HOUSE～きみのいえ 6 団体合計 300,000 円</p>	
事業名	事業の具体的内容と目的
各種ボランティア講座の開催	<p>ボランティアニーズ・活動経験・参加意欲・年代に応じた各種講座を開催し、ボランティア活動を活性化することを目的とする。</p> <p>ボランティア入門講座、青少年のボランティア体験、ボランティア講習会経験者編、在宅福祉ボランティア講座、中学生のボランティア体験学習など地域課題に即したプログラムで開催する。</p>
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア入門講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。 	

- ・在宅福祉ボランティア育成
地域で暮らす高齢者や障害のある方々の想いや言葉に耳を傾け、共感と受容をもって心のケアにあたる傾聴ボランティア活動の展開を図るため、傾聴ボランティア定例会を開催した。
(年2回開催、延べ参加26名)
- ・中学生のボランティア体験学習
新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。
- ・都留市ボランティア活動先進地視察研修
新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。
- ・学童ミニ手話教室
新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。

事業名	事業の具体的内容と目的
総合相談事業	<p>住民の生活上の各種相談に応じ、生活の安定と安心を支えることを目的とする。</p> <p>一般相談、ボランティア相談、心配ごと相談（簡易裁判所相談事業）を行う。</p>

事業実績

一般相談・ボランティア相談

相談日時：毎週月曜日から金曜日（祭日は除く）8時30分～17時15分

対応：社協職員

心配ごと相談

相談日時：毎月第1・第3金曜日 13時～16時

相談員：司法書士 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部を電話相談にて対応した。

種類	開催日	開催日数	相談件数
一般相談	社協稼働日	随時	244件
心配ごと相談	月2回（金）	21回	20件
ボランティア相談	社協稼働日	随時	872件

事業名	事業の具体的内容と目的
ふれあい・いきいきサロン	<p>在宅の高齢者が気軽に集いお互いに交流を深め、地域の人たちとのふれあいの輪を広げるとともに、皆で支えあう地域づくりを目指し、身近な地域を拠点に、住民である高齢者とボランティアとが、それぞれの興味や関心に合わせて協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場をつくり、早期の介護予防活動の推進と地域ボランティア活動の促進を図ることを目的とする。</p> <p>身近な地域におけるふれあい・いきいきサロン活動を推進する。</p>

事業実績

身近な地域を拠点に、ふれあい交流活動（レクリエーション等）、麻雀、健康づくり（健康チェック、相談、ストレッチ体操等）、趣味・文化活動（手芸、折紙、歌等）、また、地域の子どもたちとの交流などを実施した。（市内11か所）

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止するサロンが多かった。

ふれあい・いきいきサロン活動事業補助金を交付

3団体 208,200円

事業名	事業の具体的内容と目的
ふれあい・子育てサロン	<p>親の孤立化防止、仲間づくり、地域で安心して子育てができる環境づくり、子どもの心身の健やかな成長に資する、住民の自主的な福祉活動としての参加促進、地域の連帯や福祉力の醸成を目的とする。</p> <p>月1回は親も子も友達づくりをすすめる親子サロン、月1回は母親がリフレッシュするためのリフレッシュサロンを開催する。</p>

事業実績

ファミリーサポート事業を行っている子育て支援グループの活動を支援した。
（NPO法人にこ研親子のえがお研究クラブ）

事業名	事業の具体的内容と目的
いこいの広場(障がい者の地域交流事業)	<p>障がいの有無に関係なく、地域の方々、障がいのあるの方々、学生などが一体となり誰もが充実して楽しく過ごせるような地域づくりを目的とする。</p> <p>いこいのひろばを定期的を開催する。</p>

事業実績

例年、地域の人々、障がいのある人々、学生などが一体となり、誰もが充実して楽しく過ごせるよう、様々なクラブ活動やレクリエーション活動を行なっているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉医療健康講座	<p>都留医師会、都留CATVと協働し、「福祉・医療・健康」について市民と医師のディスカッション形式の対話集会を開催し、地域社会に対する福祉・医療の啓蒙・啓発活動に努めるとともに、住民の病気予防活動につなげることを目的とする。</p>

事業実績

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、山梨大学、都留医師会、山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ富士、都留CATV、社会福祉協議会の5者で協議し、今年度については山梨大学公開講座を収録し、都留CATVにて放映した。

テーマ「新型コロナウイルス感染症の正体とこれからの山梨」

収録日 令和2年9月27日（日） 都留CATV放映日 10月24日（金）・25日（土）・25日（日）

事業名	事業の具体的内容と目的
老人の幸せの里づくり事業	高齢者の生きがいをづくりとして、各教室（民謡・詩吟・舞踊・大正琴・歌謡・囲碁・将棋）を開催し、介護予防や引きこもり防止につなげることを目的とする。 また、一年の活動の成果を発表する場として「ふるさと祭りおさらい会」を開催する。

事業実績

新型コロナウイルス感染防止に十分注意し、高齢者の生きがいをづくり・社会参加のため、各教室を自主的に実施した。

教室名	開催数	延べ参加者数
民謡教室	0回	0名
囲碁教室	18回	190名
将棋教室	15回	103名
舞踊教室	14回	170名
大正琴教室	2回	14名
歌謡教室	0回	0名
詩吟教室	9回	56名

計 533名

民謡教室、歌謡教室、ふるさと祭りおさらい会については、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため中止した。

事業名	事業の具体的内容と目的
おふくろの味・知恵袋交換会	高齢者の持つ様々な知識や技術を地域福祉活動に活かし高齢者の生きがいをづくりやボランティア活動の参加促進を図るとともに、世代間交流の輪を広げ、家庭生活に役立つ様々な生活文化を伝授しあい、それぞれの日常生活を豊かなものにするを目的とする。 おふくろの味を伝授する料理教室や、生活の知恵を伝授する機会を設ける。

事業実績

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。

事業名	事業の具体的内容と目的
都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業	日常生活で困った時に地域の中でお互いに支え合い、誰もが自立した、より豊かな生活が送れるよう、住民が、支え合いの精神に基づいた主体的な参加と協力により、よりきめ細やかな福祉サービスを展開することを目的とする。 住民参加型有償在宅福祉サービス「ささえあい・ホットサービス都留」を展開する。サービスを提供する有償ボランティア養成講座を開催し円滑に事業を展開する。

事業実績

おおむね65歳以上の高齢者またはその家族、障害（児）者またはその家族、子育て中の家庭、ケガや病気で一時的に生活に支障をきたしている方を対象に食事の援助、衣類の洗濯・補修、日常的な住居等の清掃、整理整頓、生活必需品の買い物、手紙等の代筆、朗読、話し相手、見守り、医療機

関等との連絡、受診時の付添い、薬の受取り・服薬確認、簡単な身の回りの援助、外出介助（散歩、買い物付添、通院の付添等）、大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し、庭の草取り、庭木の剪定、雪かき、子育て支援（家事援助）等、在宅福祉に必要なサービスを実施した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、室内での支援は状況に応じて休止し、屋外での支援についても、依頼会員や協力会員の意向を確認しながら対応した。

（利用会員 136 名 協力会員 82 名 延べ 77 回稼働）

・住民参加型在宅福祉サービス養成講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会 4 者での情報交換会	保健福祉センターいきいきプラザ都留の中にある、福祉課、長寿介護課、健康子育て課、社会福祉協議会の四者で情報交換・意見交換を行い、各々の使命・役割・事業内容を共有化し、市民にわかりやすく市の保健福祉関係の情報を提供するとともに、市民からの問い合わせや相談対応に関して、適材適所に結び付けるよう 4 者で連携することを目的とする。四者協議の場を設ける。
事業実績	
福祉課、長寿介護課、健康子育て課と随時情報交換や会議を行った。	

事業名	事業の具体的内容と目的
障がい者スポーツの振興	障害者団体・障害者施設・デイケアなどとネットワークをつくり、障害者同士の交流と地域住民の交流の場としてスポーツ交流会を開催し、スポーツの楽しさを通じて親交を深めるとともに相互理解を深め、共に生きる地域社会づくりをすすめることを目的とする。グラウンドゴルフ交流会を開催する。
事業実績	
例年、障害者スポーツ交流会を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。	

事業名	事業の具体的内容と目的
共同募金配分金事業	善意による住民の募金の配分金を効率的に利用し、社会福祉事業に役立てることを目的とする。
事業実績	
<p>(1) 赤い羽根共同募金運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年 10 月 1 日（木）～令和 3 年 3 月 31 日（水） 戸別募金、職場募金、大口募金とともに、歳末たすけあい運動を実施 ・令和 2 年 10 月 1 日（木）街頭募金を実施 社協関係機関のほか、高校生ボランティアが協力 総合計 4,311,978 円 <p>(2) 歳末たすけあい事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・援護物資の支給 80 歳以上の在宅ひとり暮らし老人世帯（408 世帯）に現金 3,000 円、寝たきり老人世帯（40 世帯）にバスタオル・現金 3,000 円（共募分 500,000 円） <p>(3) 地区社会福祉協議会等小地域福祉活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協へ助成 7 地区合計 326,000 円（地区社会福祉協議会活動費） ・ふれあい広場遊具補修事業（与縄日向自治会）265,000 円 <p>(4) 市町村社会福祉協議会地域福祉活動事業（ボランティア活動推進校事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内 12 小・中・高校にボランティア活動助成金を交付（516,000 円） 	

- (5) 地域福祉活動団体推進事業（老人・身障者運動会）
 - ・老人ゲートボール大会事業（市老人クラブ連合会）（50,000 円）、障害者運動会事業（市身障福祉会）（50,000 円）、障害者ふれあいスポーツ交流会事業（13,000 円）の事業実施に対して助成
- (6) 地域福祉活動団体推進事業（ボランティアまつり）
 - ・都留市ボランティアまつりの実施（37,717 円）
- (7) 地域社会福祉事業（広報の発行）
 - ・年 4 回「つるの福祉」の発行（167,000 円）
- (8) 地域社会福祉事業（子育て支援サロン事業）
 - ・子育てサロンへの助成 2 団体 合計 100,000 円
- (9) 地域社会福祉事業（社会福祉大会事業）
 - ・都留市社会福祉大会の実施（60,000 円）
- (10) あったかサービス事業
 - ・地区社協（給食サービス、ふれあいいいききサロン）への助成（350,000 円）
- (11) 安心・安全なまちづくり事業
 - ・災害ボランティアセンター設備費、高校生災害ボランティアスクール事業費（213,750 円）
- (12) みんなで地域をよくする事業
 - ・ボランティア団体への助成（3 団体 111,150 円）

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉サービス利用援助事業	<p>都留市・道志村の基幹社協として、管内の様々なサービスを適切に利用することが困難な方（認知症高齢者・知的障害者・精神障害者）を対象に福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施し、できるだけ自立して生活が送れるよう支援することを目的とする。</p>
事業実績	
<p>日常生活自立支援事業実施状況（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問合せ・相談件数：815 件（認知 382 件、知的 236 件、精神 197 件） ・契約締結件数：12 名（認知症 6 名、知的 3 名、精神 3 名） ・契約終了件数：49 名（認知症 14 名、知的 15 名、精神 19 名、その他 1 名） <p>実利用者数 28 名（令和 3 年 3 月末） （都留市 24 名 道志村 4 名）</p> <p>日常生活自立支援事業の広報・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各協力社協より相談内容や件数を定期的に聴取 ・協力社協を訪問・電話連絡・パンフレットを送付することにより日常生活自立支援事業を周知 <p>日常生活自立支援事業の契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自宅等を訪問し、調査・契約・支援計画・預かり書を作成 <p>基幹的社会福祉協議会連絡会議への参加</p> <p>専門員による各市町村協力社協への訪問、記録チェック （ケース記録、通帳コピー等との照合）</p> <p>契約終了に伴う手続き</p>	

障害者社会参加促進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
奉仕員等(点字奉仕員・手話奉仕員・朗読奉仕員)養成事業	障害者にとって最も身近な市町村において、ノーマライゼーション（障害のある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくり）の理念の実現に向けて、コミュニケーション支援、情報支援など障害者の需要に応じた事業を実施することにより、障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。 手話奉仕員養成講習会、点訳奉仕員養成講習会を開催する。
事業実績	
点字奉仕員養成事業 ・点字奉仕員養成講習会(フォローアップ)を開催 (年1回開催、養成人員4名) 手話奉仕員養成事業 ・手話奉仕員養成講習会(入門・基礎)を開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、10月から開始した。 (年23回開催、養成人員12名)	
事業名	事業の具体的内容と目的
点字・声の広報など発行事業	視覚障害者にとって住みやすい地域とは、全盲や高齢化に伴う弱視といった視覚障害者について正しい理解が進み、地域の情報や制度が適切に得られることである。地域の様々な情報を点訳・音声訳朗読などで視覚障害者にわかりやすく情報を届ける情報支援を行うことを目的とする。 広報つる、議会だより、つるの福祉、生活情報、行政情報を点字や声の広報にしてお届けする。
事業実績	
音声訳広報 ・広報つる (8回発行) ・議会だより (3回発行) ・つるの福祉 (3回発行) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、録音を中止した時期があった。 点訳広報 ・生活情報 (年7回実施)、行政関係資料 (年5回実施)	
事業名	事業の具体的内容と目的
当事者組織の支援	会員相互の親睦を図るとともに保健・福祉の増進を図り、豊かに人間らしく生きられるよう自立と社会参加をめざして活動を行う視覚障害者の当事者組織を支援することを目的とする。 山梨県視覚障害者協会都留支部の事務局を担当し、活動を支援する。
事業実績	
山梨県視覚障害者協会都留支部の定例会、マッサージボランティア活動、福祉講話などの事業推進にあたり、事務局として支援した。	

在宅福祉推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
給食サービス事業	住民参加による福祉のまちづくりを進めるため日常生活に支障のある高齢者、重度の障害者等に食生活の改善及び健康増進を図るとともに地域住民による安否確認を行うことを目的とする。 毎日型食事サービスを提供する。(土日・祝日以外)

事業実績

虚弱なひとり暮らし老人や老人夫婦世帯を対象に、毎日型食事サービスを提供した。配食ボランティアの調整及び募集を実施した。(ボランティア登録数 84名)
利用者個々の身体状況に応じた食事を提供した。

	平日
1日平均食数	19.6
延べ配食数	4,821

配食ボランティア交流会：新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため中止した。

事業名	事業の具体的内容と目的
ふとん丸洗い事業	在宅のねたきり老人世帯等に対し、ふとん丸洗い事業を実施することにより、健康で衛生的な在宅福祉の増進を図ることを目的とする。

事業実績

健康で衛生的な在宅福祉増進のため、在宅の老人世帯等に対し年3回ふとん丸洗いを実施した。

	8月実施	12月実施	3月実施	合計
実人数	27	22	18	67
枚数	50	37	33	120
リース利用件数	0	2	1	3

事業名	事業の具体的内容と目的
生活福祉資金貸付事業	低所得者、障害者又は高齢者に対し、社協と民生委員協議会と連携し資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。

事業実績

	延相談件数	貸付件数	貸付額
件数	47件	2件	100,000円

※ 山梨県社会福祉協議会が実施した緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金特例貸付
(延長・再貸付含む)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付けを行った。

	延相談件数	申込件数	申請額
特例貸付	713 件	310 件	108,150,000 円

事業名	事業の具体的内容と目的
地域ふれあい健康推進事業	都留市内の7地区(谷村地区、三吉地区、開地地区、東桂地区、宝地区、禾生地区、盛里地区)において、地域住民主体による介護予防活動の展開を図ることを目的とする。 地域ふれあい健康事業を行う。
事業実績	
都留市内1地区において、地区社会福祉協議会や協働のまちづくり推進会と連携し介護予防事業を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、その他の地区においては中止した。 ・三吉地区社会福祉協議会 グラウンドゴルフ教室 年1回	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バス運営事業	老人クラブ、福祉団体、ボランティア団体など(福祉バス使用規程)の社会福祉活動の利便を図ることを目的とし、福祉バスを運行する。
事業実績	
福祉バスの運行は、新型コロナウイルス感染症の影響により運行が中止となった。 ・地区老人クラブの送迎 0回 ・各種福祉団体の送迎 年1回	

事業名	事業の具体的内容と目的
善意銀行事業	都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。 個人、企業及び団体等からの善意(金品、労力、技術等)の預託・払い出しを行う。
事業実績	
物品預託 ・物品：プルタブ・ペットボトルキャップ・使用済み切手・インクカートリッジ等 ・社協だより(つるの福祉)へ随時掲載 金品払出、物品払出 ・寄付金：300,000円 (慰問金) 180,000円 (歳末たすけあい事業経費) 120,000円 ・物品：米、綿、着物、端切れ、タオル等	

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉基金事業	個人及び事業・団体等から受ける寄付金を積み立て、都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。
事業実績	
福祉バザー事業より繰入金収入 316 円	

事業名	事業の具体的内容と目的
地域見守りネットワーク事業	<p>住み慣れた地域の中で誰もが安心して暮らすには、公的なサービスの充実とともに、近隣での見守りと助け合いのネットワーク（網の目の組織）が必要となる。地域に住む人たちがネットワークを築き、福祉課題（ニーズ）を発見し助け合う仕組みをつくり実践することを目的とする。</p> <p>日常的に、身近な地域の中で見守り声かけ活動を展開し、生活課題の早期発見・早期支援を行う。</p>
事業展開	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援から、民生委員・児童委員、住民組織、事業者等とネットワークを築き、生活支援・見守り体制を構築した。 ・ 社協組織内で、各部署間で連携し情報共有やケース会議を行った。 	

事業名	事業の具体的内容と目的
生活支援体制整備事業	日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする。
事業実績	
<p>生活支援サービスのコーディネート等に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援コーディネーターと協議体の活動運営について 研修年 5 回参加 ・ 多職種連携会議 年 3 回 ・ 有償在宅福祉サービスコーディネート 77 回 <p>協議体設置に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三吉地区：打合せ・連絡調整 計 5 回、協議体活動 3 回 ・ 東桂地区：打合せ・連絡調整 計 11 回、事業説明 6 回、事業説明会 1 回 ・ 盛里地区：打合せ・連絡調整 計 6 回、事業説明 3 回 ・ 開地地区：打合せ・連絡調整 計 8 回、事業説明 3 回 <p>サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護支援ボランティア養成講座 年 1 回 受講者 8 名 新規登録者 10 名 	

事業名	事業の具体的内容と目的
介護支援ボランティア事業	65歳以上の高齢者の健康増進や介護予防、また、社会参加や地域貢献を通じた生きがいづくりを推進し、健やかでいきいきとした地域社会を作ることとする。

事業実績

<p>介護支援ボランティアの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援ボランティア養成講座 年1回 受講者8名 新規登録10名 ・介護支援ボランティア登録数 合計110名 <p>介護支援ボランティアシートの作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援ボランティアシート作成300冊 ・介護支援ボランティアシート配布112冊 再発行1冊 計113冊 <p>介護支援ボランティア受入事業所等と介護支援ボランティアの調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンターへの介護支援ボランティア受け入れ相談 ・デイサービスセンターでの活動支援 <p>介護支援ボランティア実施証明印の押印</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入れ可能施設での活動時 各施設にて押印 ・地域や社会福祉協議会での活動時 社会福祉協議会にて押印
--

事業名	事業の具体的内容と目的
障害者等相談支援事業	障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見の為の関係機関との連絡調整その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助（相談支援事業）を行うことを目的とする。

事業展開

相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員 (重複有り)	身体障害	重症心身 障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機 能障害	その他
障害者	22	5	0	5	12	0	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	5	0	5	12	0	0	0

支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メー ル	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	158	27	34	212	1	30	91	29	582

支援内容

	福祉サービス の利用等に関 する支援	障害や病状の 理解に関する 支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に関 する支援	保育・教育に 関する支援	家族関係・人 間関係に関す る支援	家計・経済に 関する支援
件数	109	36	163	214	0	59	23
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0	0

	生活技術に関 する支援	就労に関する 支援	社会参加・余 暇活動に関す る支援	権利擁護に関 する支援	その他	計
件数	122	6	11	10	63	816
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0

介護サービス事業

事業名	事業の具体的内容と目的
居宅介護支援事業（介護保険事業・介護予防事業・認定調査）	<p>要介護状態にある高齢者に対し、適正な居宅介護支援を提供する事を目的とし、利用者が、要介護状態にあっても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス、福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う。</p> <p>新しい社会資源開発に向けて地域ニーズ、実態把握を目的とし地域にニーズをキャッチし地域の生活課題として提起を行う。</p>

事業実績

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者が可能な限り、その居宅において自立した日常生活を営む事ができるよう、適切な居宅サービスや施設サービスが利用できるようにケアプランを作成した。
- ・延べ利用人数 (令和元年度：1,938名 令和2年度：1,949名)
 - ・月平均ケアプラン作成件数 (令和元年度：162件 令和2年度：162件)
 - ・ケアマネ1人当たり件数 (令和元年度：27件 令和2年度：32件)
- (2) 認定調査の実施 (令和元年度：149件 令和2年度：51件)
- (3) 居宅介護支援事業所連絡会・介護サービス事業所合同学習会へ出席し、市内の他事業所や行政と連携・連絡を密にするほか事業所内での事例検討会を開催、各種研修会等に参加した。

(介護利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数(R1)	153	146	145	148	147	148
件数(R2)	149	144	147	153	148	152
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数(R1)	153	153	150	149	150	150
件数(R2)	152	150	151	153	156	154

(予防利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数(R1)	8	9	11	11	11	11
件数(R2)	13	14	13	12	11	11
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数(R1)	12	15	15	16	14	13
件数(R2)	11	12	11	10	11	11

(認定調査数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数(R1)	14	8	11	14	16	13
件数(R2)	10	6	8	5	5	6
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数(R1)	10	14	17	13	10	9
件数(R2)	5	5	1	0	0	0

事業名	事業の具体的内容と目的
訪問入浴介護事業	要介護状態にある高齢者に対し、適正な指定訪問入浴介護を提供する事を目的とする。

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴を援助した。

- ・ 延べ訪問件数 （令和元年度：354 件 令和2年度：335 件）
- ・ 月平均利用件数（令和元年度：29.5 件 令和2年度：27.9 件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実人数 (R1)	8	8	8	8	8	7
延べ人数 (R1)	35	30	32	33	34	30
実人数 (R2)	6	8	6	7	6	6
延べ人数 (R2)	19	26	23	22	22	22
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実人数 (R1)	6	6	6	6	8	6
延べ人数 (R1)	30	29	31	27	23	20
実人数 (R2)	7	10	8	8	9	11
延べ人数 (R2)	26	33	33	32	36	41

事業名	事業の具体的内容と目的
訪問介護事業	訪問介護事業者として認定者の在宅での自立支援のために身体介護及び生活支援サービスの提供を行い、在宅福祉の充実を図る事を目的とする。

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を図った。

- ・ 延べ訪問回数 (令和元年度：3,442回 令和2年度：3,035回)
- ・ 月平均訪問回数 (令和元年度：286回 令和2年度：252回)
- ・ 延べ訪問時間 (令和元年度：2,820時間20分 令和2年度：2,997時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数(R1)	32	31	33	31	32	31
延べ人数(R1)	319	285	254	264	297	321
延べ時間(R1)	237時間	233時間30分	222時間50分	229時間30分	244時間20分	294時間30分
実人数(R2)	26	25	25	26	27	29
延べ人数(R2)	260	279	254	255	240	251
延べ時間(R2)	221時間30分	227時間30分	201時間45分	196時間30分	180時間30分	194時間45分
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数(R1)	30	32	32	25	27	27
延べ人数(R1)	282	291	317	276	257	278
延べ時間(R1)	216時間	224時間55分	250時間	215時間55分	211時間05分	240時間15分
実人数(R2)	30	34	34	29	32	33
延べ人数(R2)	262	251	249	236	209	289
延べ時間(R2)	215時間15分	194時間45分	185時間30分	178時間	164時間	236時間

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防・日常生活支援総合事業 (訪問介護)	要支援1又は2の状態にある高齢者・チェックリスト等で総合事業の対象者とされた「事業対象者」に対し、適正な介護予防訪問介護を提供することを目的とする。

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者が可能な限り在宅において要支援状態の維持若しくは改善を図り、又は要介護状態になる事を予防し、自立した日常生活を営むことが出来るよう入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者が自立できるよう支援を行った。

- ・ 延べ訪問回数 (令和元年度 : 547回 令和2年度 : 214回)
- ・ 月平均訪問回数 (令和元年度 : 46回 令和2年度 : 18回)
- ・ 延べ訪問時間 (令和元年度 : 546時間 令和2年度 : 214時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数(R1)	7	7	9	9	9	10
延べ人数(R1)	41	49	41	50	50	54
延べ時間(R1)	40	49	41	50	50	54
実人数(R2)	5	6	5	5	4	4
延べ人数(R2)	19	25	19	17	17	17
延べ時間(R2)	19	25	19	17	17	17
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数(R1)	9	9	9	8	7	6
延べ人数(R1)	51	51	47	43	36	34
延べ時間(R1)	513	51	47	43	36	34
実人数(R2)	6	5	5	5	4	4
延べ人数(R2)	21	17	17	16	13	16
延べ時間(R2)	21	17	17	16	13	16

事業名	事業の具体的内容と目的
通所介護事業	<p>要介護者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うことを目的とする。また、介護者である家族の身体的及び精神的な負担を軽減することを目的とする。</p> <p>送迎、バイタルチェック、入浴支援、昼食の提供、体操、レクリエーション、手芸活動、外出行事、保育所・幼稚園・小中高大学生やボランティア団体と交流の機会を設け、地域住民との関わりを持ちながらサービスを行う。</p> <p>介護者の負担の軽減を図る。(介護離職の防止など)</p>

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うなど適切なサービスを提供した。

- ・ 営業日 (令和元年度： 308 日 令和 2 年度： 308 日)
- ・ 延べ利用人数 (令和元年度： 7,633 名 令和 2 年度： 7,903 名)
- ・ 1 日平均 (令和元年度： 24.7 名 令和 2 年度： 25.6 名)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実人数 (R1)	67	67	64	68	74	71
延べ人数 (R1)	582	634	560	638	721	680
実人数 (R2)	76	74	73	73	70	71
延べ人数 (R2)	682	682	694	700	666	680
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実人数 (R1)	71	73	72	74	74	74
延べ人数 (R1)	687	664	604	585	626	652
実人数 (R2)	71	73	72	71	71	77
延べ人数 (R2)	672	649	609	588	604	677

事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護）	<p>利用者が可能な限り在宅において要支援状態の維持若しくは改善を図り、又は要介護状態となることを予防し自立した日常生活を営むことができるよう入浴・排泄・食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行うことを目的とする。</p> <p>心身の機能低下を予防するために、人と関わる事で楽しみを見つけられるような時間の提供をする。また運動機能の向上を目的とした体操やレクリエーション、リハビリを通じ、要介護状態へ進まぬようにする。</p> <p>社会的孤立を解消し、心身機能の維持、向上を図る。</p>

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、事業対象者並びに、要支援1相当又は2相当の状態にある利用者に対して、自立した日常生活を営むことが出来るよう必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行い、機能訓練等の予防介護その他適切なサービスを提供した。

- ・ 営業日 (令和元年度：308日 令和2年度：308日)
- ・ 延べ利用人数 (令和元年度：498名 令和2年度：520名)
- ・ 1日平均 (令和元年度：1.6名 令和2年度：1.6名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R1)	9	9	11	9	8	9
延べ人数 (R1)	40	49	47	48	44	37
実人数 (R2)	7	7	7	8	8	8
延べ人数 (R2)	41	36	34	51	43	48
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R1)	8	8	7	8	7	7
延べ人数 (R1)	46	43	33	40	37	34
実人数 (R2)	9	8	8	7	6	5
延べ人数 (R2)	60	51	49	34	34	39

事業名	事業の具体的内容と目的
自立支援居宅介護事業（居宅介護、行動援護、重度訪問介護、同行援護）	<p>利用者が居宅において日常生活を営む事が出来るよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴・排泄及び食事等の介護・調理・洗濯及び掃除等の家事・行動援護・生活等の相談・助言、その他生活全般にわたる援助を行う事を目的とする。障害者総合支援法に基づいて事業を提供する。（身体障害者・知的障害者・児童・精神障害者）</p> <p>視覚障害者を対象に同行援護（移動に必要な情報の提供や移動の援護、介護等）を実施する。</p> <p>キャリアアップのための研修に参加する。</p>

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、障害者の在宅での生活を支援するため、居宅生活支援事業（ホームヘルプサービス）を実施した。

- ・精神障害者（延べ訪問回数：令和元年度：834回 令和2年度：865回）
（延べ訪問時間：令和元年度：869時間 令和2年度：859時間45分）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R1)	7	8	8	7	7	7
延べ人数 (R1)	66	73	77	77	75	73
延べ時間 (R1)	69時間45分	75時間45分	79時間30分	78時間45分	77時間45分	76時間15分
実人数 (R2)	6	6	6	7	7	7
延べ人数 (R2)	69	68	58	69	61	71
延べ時間 (R2)	74時間	72時間45分	71時間15分	83時間	73時間15分	49時間30分
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R1)	8	8	7	6	6	6
延べ人数 (R1)	71	83	64	58	58	59
延べ時間 (R1)	72時間30分	86時間30分	67時間	61時間	61時間	63時間15分
実人数 (R2)	7	7	8	8	8	8
延べ人数 (R2)	83	76	67	95	73	75
延べ時間 (R2)	78時間	74時間	71時間	74時間	73時45分	65時間15分

- ・身体障害者（延べ訪問回数：令和元年度：1,137回 令和2年度：1,101回）
（延べ訪問時間：令和元年度：1,107時間30分 令和2年度：1,106時間30分）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R1)	6	6	6	6	5	6
延べ人数 (R1)	79	106	98	99	94	94
延べ時間 (R1)	75時間	99時間45分	93時間	96時間30分	92時間	92時間30分
実人数 (R2)	7	7	7	7	6	5
延べ人数 (R2)	105	88	106	114	91	88
延べ時間 (R2)	106時間45分	92時間15分	108時間15分	119時間30分	94時間	87時間30分
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R1)	6	6	6	7	6	7
延べ人数 (R1)	100	92	97	95	76	107
延べ時間 (R1)	97時間30分	90時間30分	94時間30分	92時間45分	75時間45分	107時間45分
実人数 (R2)	5	5	5	5	6	6
延べ人数 (R2)	91	86	87	63	93	89
延べ時間 (R2)	64時間	90時間15分	88時間30分	86時間45分	89時間	79時間45分

- ・ 知的障害者 (延べ訪問回数：令和元年度：826回 令和2年度：828回)
 (延べ訪問時間：令和元年度：927時間45分 令和2年度：933時間30分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R1)	6	6	6	6	6	6
延べ人数 (R1)	70	70	70	70	65	68
延べ時間 (R1)	78時間	79時間	78時間15分	79時間	73時間30分	76時間30分
実人数 (R2)	6	5	5	6	6	6
延べ人数 (R2)	72	67	71	76	65	73
延べ時間 (R2)	80時間30分	76時間	78時間	85時間	72時間	80時間30分
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R1)	5	5	6	6	6	6
延べ人数 (R1)	72	67	68	64	67	75
延べ時間 (R1)	82時間	74時間	77時間	71時間30分	74時間30分	84時間30分
実人数 (R2)	6	6	6	6	6	6
延べ人数 (R2)	71	61	76	62	64	70
延べ時間 (R2)	79時間	76時間	87時間30分	73時間	72時間	74時間

- ・ 児童 (延べ訪問回数：令和元年度：0回 令和2年度：0回)
 (延べ訪問時間：令和元年度：0時間 令和2年度：0時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R1)	0	0	0	0	0	0
延べ人数 (R1)	0	0	0	0	0	0
延べ時間 (R1)	0	0	0	0	0	0
実人数 (R2)	0	0	0	0	0	0
延べ人数 (R2)	0	0	0	0	0	0
延べ時間 (R2)	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R1)	0	0	0	0	0	0
延べ人数 (R1)	0	0	0	0	0	0
延べ時間 (R1)	0	0	0	0	0	0
実人数 (R2)	0	0	0	0	0	0
延べ人数 (R2)	0	0	0	0	0	0
延べ時間 (R2)	0	0	0	0	0	0

事業名	事業の具体的内容と目的
障がい者移動支援事業	障害者の方々が地域において自立した生活ができるよう、都留市より受託し、買物の移動や余暇活動への参加等様々な活動に対する移動支援を行う事を目的とする。

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、障害者の方々が地域において自立した生活ができるよう、買物時の移動、余暇活動の参加等様々な生活支援を提供した。

- ・ 延べ利用人数（令和元年度：73名 令和2年度：40名）
- ・ 延べ利用時間（令和元年度：78時間30分 令和2年度：40時間）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R1)	2	2	2	2	2	3
延べ人数 (R1)	14	10	11	4	3	7
延べ時間 (R1)	12時間	8時間30分	9時間30分	5時間30分	4時間	12時間
実人数 (R2)	1	1	1	1	1	1
延べ人数 (R2)	5	4	4	4	1	4
延べ時間 (R2)	5時間	4時間	4時間	4時間	1時間	4時間
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R1)	1	1	2	2	1	1
延べ人数 (R1)	5	5	3	3	4	4
延べ時間 (R1)	6時間	6時間30分	3時間	3時間	4時間30分	4時間
実人数 (R2)	1	1	1	1	1	1
延べ人数 (R2)	1	4	3	3	3	4
延べ時間 (R2)	1時間	4時間	3時間	3時間	3時間	4時間

事業名	事業の具体的内容と目的
基準該当生活介護事業	<p>障害者総合支援法に基づき、障害区分認定を受けた身体障害者（内部障害や肢体不自由な方）に対し、高齢者のデイサービス（介護保険）と同様なサービス（送迎・バイタルチェック・入浴支援・昼食の提供・体操やレクリエーション）を提供し、障害を持った方もできる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう在宅福祉の充実を図ることを目的とする。</p> <p>社会的孤立を解消し、介護者負担の軽減・心身機能の維持と向上を図る。介護者の負担の軽減を図る。（介護離職の防止など）</p>

事業実績

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、身体障害者に対し、利用者ができる限り自立した日常生活を営むことができるよう基準該当生活介護（デイサービス）を実施した。

- ・ 営業日 （令和元年度：308日 令和2年度：308日）
- ・ 延べ利用人数（令和元年度：494名 令和2年度：397名）
- ・ 1日平均 （令和元年度：1.6名 令和2年度：1.2名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人数 (R1)	5	5	5	5	5	5
延べ人数 (R1)	40	48	44	45	44	45
実人数 (R2)	5	5	6	6	4	4
延べ人数 (R2)	37	46	42	45	32	29
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数 (R1)	5	4	5	5	4	5
延べ人数 (R1)	42	35	40	37	38	36
実人数 (R2)	4	4	4	4	5	5
延べ人数 (R2)	32	24	30	26	30	24